

天童

# レモネードの輪 さらに

## プロジェクト3年目 小児がん患者を支援

「山形メーカーレモネードプロジェクト」の3年目の活動をスタートさせた「nico こえ」のメンバーら  
天童市・県青年の家



県内の中高生らが中心となり、レモネードの販売収益を小児がん患者の支援に

つなげる「山形メーカーレモネードプロジェクト」のキックオフミーティングが10

日、天童市の県青年の家で開かれ、3年目の活動をスタートさせた。

プロジェクトは、県青年の家がコーディネートするボランティアサークル「nico こえ」が2023年度に立ち上げた。同サークルや、趣旨に賛同する県内の団体・個人が学校祭や地域の催しなどでレモネードを販売。活動1年目は103万円、2年目は198万円の支援金を集め、山形大医学部に寄付した。

この日、高校生リーダーの安達和樺さん(17)と山形西高2年IIがプロジェクトの概要を説明。プロジェクトリーダーで、自身も小学3年の頃に小児がんを患った平田寧々さん(19)と県立保健医療大1年IIが「認知度は徐々に高まっていて、励ましの声も頂いている。活動の輪をさらに広げることができるよう、3年目の活動も頑張りたい」とあいさつした。(落合慶)